新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～１０月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

花や葉を支えているのは枝、枝を支えているのは幹、幹を支えているのは根。花や葉や枝や幹は見えますが、根は見えません。見えない根を太く丈夫に育てることで、美しい花が育ちます。子どもの感性（感じる心）を育てることも、木の根を太く丈夫に育てることと似ているように思うのです。

さつまいもをほったら、大きないもがなかなかぬけなかった。「もっと大きくなるまで、はなさないぞ」と、土が言っているようだった。（２年女子）

長い距離を走るとドキンドキンと心臓の音がする。何もしてないときは聞こえないのに不思議だな。（６年男子）

おばあちゃんの家から帰るとき、空が青とピンクになり、水に絵の具をたらしたように美しかった。（４年女子）

家のまどに太陽の光が当たり、にじ色にピカピカと光っていた。きれいだったし、ふしぎだった。（３年女子）

ねこの目は、おひるはほそいのに、よるは大きくなる。ふしぎだな。（１年男子）

お母さんからものすごくおこられた。でも、「わたしのためにしかった」と言って、ぎゅっとだきしめてくれた。安心したし、はんせいもしたよ。（２年女子）

月がぼやけて見えたり、はっきり見えたりするのはなぜだろう。不思議だな。（５年男子）

馬に乗ったら、馬の足音がパッカパッカ。リズムに合わせて楽器を演奏しているみたいで楽しくなってきた。（４年女子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第５号　R3.10.28